

北見武道通信

令和5年8月10日 00651号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】

第27回北見市総合武道祭公開演武紹介!



6月10日(土)14:30~北見市柔道協会の安田彩心君(高1)と八巻飛夢君(高2)の二人が講道館柔道「投の形」を見事に演武しました。投の形は、手技・腰技・足技・真捨身技・横捨身技の五つに分類され、数多い技の中から、それぞれに属する代表的な技を、三本宛計15本を選び組み合わせたもので、取は、相手をいかに崩し、自分を作り、どんな技を掛けるか、又、受は、その技をいかに

して受けるかを修得させるため、柔道理論に基づいて制定されたものです。写真は、足技(送足払)で「取」安田彩心君が動きの中で相手を崩し作り一瞬で掛けを行えば、「受」八巻飛夢君は無駄に逆らうことなく流れるような美しい受身を行い、締りのある素晴らしい形の演武となりました。(佐藤)



武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ

武道館スタッフ織田愛子展 ※お題は「こども縁日」

北見大東流合気武道会合気武道50周年記念誌 基本編紹介

28.2.2 杖から打つとき

- 受が片手(或いは両手)に杖を握り左側から打つ。
- ・取は左足を一歩進め、受の鼻に飛び込み、右膝下に浅く右肩を入れる(両手で放められるときは受の左肩へ取の右肩を立入れる)
 - ・このとき右肘は覆り、左手は(向の)右手前を引き(この動作は同時)
 - ・右足を一歩出し受を前に引き落とす(或いは投げ。初心者は投げを恐れ取の右手にしがみつくと傾向があるから引き落とす方がよい)

